

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	防疫等対策事業			
予算科目	4 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 環境の保全			
所管課情報	担当課:	環境保全課	電話番号(内線):	535
記入者情報	所属長:	出来 和人	担当責任者:	窪田 春樹
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	ねずみ、有害昆虫及び被災家屋			
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
事業の目的	感染症法に規定する一類・二類、三類感染症又は四類感染症の発生予防とそのまん延の防止。良好な生活環境の中で市民生活が営まれ、市民一人ひとりが住みよいと感じることができる環境の維持。			
事業の内容	災害時における被災家屋等の消毒、水路等衛生管理のための消毒液配布、ハエ・蚊・ハチ等害虫発生時の苦情対応及び駆除。感染症の病原体に汚染され、又は汚染された疑いがある飲食物・衣類・寝具その他物件の消毒。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	良好な生活環境を保持する意識が向上するよう、時期を捉えて市民への周知を図る。また、有事に防疫業務がスムーズに行えるよう、平時に機材の点検を行う。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	102	138	30	138
	人件費	488	397	159	397
	合計	0	535	189	535
人件費 内訳	人工数	0.06	0.05	0.02	0.05
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	488	397	159	397
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	590	535	189	535

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
被災家屋等の消毒件数	件	1	1	0	0
病虫害駆除用資材の交付	件	10	10	2	2
病虫害に関する苦情件数	件	1	5	1	2

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		140	140	140	140	

成果指標				
成果指標	感染症発生件数(件)			
指標設定の考え方	根拠法令が感染症の発生を予防し、感性症のまん延の防止を図り、公衆衛生の向上及び増進を図る目的であることから設定。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	医学治療の進歩や衛生水準の向上により、多くの感染症は克服されてきたが、地球温暖化の影響による新たな感染症の脅威にさらされていることを忘れてはならない。特に本年は、蚊媒感染症(デング熱)の国内感染事例によって市民の認知が高まったことに伴い、今後も感染症例が探知される機会が増えることが予想される。しかしながら過度な啓発は、衛生環境に対して過剰な反応が生じる可能性もあるため、普段から良好な生活環境保持に努めるよう、適度な注意喚起に努める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	過去の衛生水準と比較すると現在はかなり水準は向上している。そのことにより、多くの感染症を克服してきた。しかし、温暖化により国内でも未知の細菌が現れてもおかしくない状態にあると思われる。国内ではデング熱が発生し話題になったばかりである。普段から警戒することを怠らないように啓発していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題